

亡き
母への想い。

失った
娘への想い。

人権教育啓発ドラマ

虹色のビー玉

～“偏見”失いかけた家族の絆～

溝辺一夫 帖佐晴菜 日高陸人

四郎園泰地 山之内千鶴子 児玉剛 馬渡愛子 前田麻美 日高そら 青崎純子

プロデューサー：上野寛如・神園浩司 脚本：藤堂未雪 監督：堀奈理子

照明：野元博之 美術/録音：上野英二 編集：児玉剛 MA：松本和樹 撮影助手：郷原葵 企画協力：下川路慶和
企画・制作：鹿児島文化企画

文部科学省選定作品

Blu-ray

※字幕版有り

DVD

※字幕版有り

制作意図

私たちは、だれもが健康・幸福で生きがいのある生活をしたいと願っていると思います。

そのためには、みんなが身近なところに存在する様々な人権を理解して、人の尊厳を考え、お互いの立場を尊重して、日々の生活を過ごさなければいけません。

ある家族の再生の姿を描くことによって、身近にある偏見や差別に目を向けてもらい、人権への理解を深めると共に、誰もが幸福に生きていく権利を持っていることを知ってもらうことを目的に制作されました。

物語

母を亡くした姉弟・美波と陸。

二人を乗せたバスは祖父である西島の暮らすさびれた漁師町に向かっていた。

姉弟の母・夕子は西島の反対を押し切り、外国人（台湾出身）と結婚した過去がある。

孫たちを拒否するように何も語ろうとしない西島。姉弟もそんな西島にとまどうが、西島の生活の役に立とうと、朝食を作り始める。しかし、西島は二人が作った朝食に口を付けようともしない。

姉弟は、西島は自分たちの母親を許しておらず、同じように自分たちのことも許せないのだと思う。

そんな時、美波が地元の子どもとけんかして相手に怪我をさせてしまう。

病院に呼び出された西島は、けんかの理由が母親の夕子からもらったビー玉だと知る。

夜の漁船の上、西島が大事そうに取り出した箱には同じようなビー玉が大事にしまわれていた。

翌日、なくなったビー玉を必死で探す姉弟。その姿を遠くから見ている少年がいる。美波とけんかし、ビー玉を海に投げ捨てた少年・龍人である。

西島は、営んでいたさつま揚げ店を閉め、年金で細々と暮らしている。

西島は、自分が姉弟を幸せに出来るか不安に思っているのだ。

そんな中、姉弟が入る施設が見つかる。

それを聞いた西島は、姉弟のためにお金を用意する。

西島からお金を渡される二人。弟の陸はそのお金を投げ捨てて飛び出してしまう。

陸を探す姉の美波。

途中、海でビー玉を探している、龍人に合い一緒に陸を探すことになる。

一方、こっそりと家に帰っていた陸を見つける西島。陸は自分たちが嫌いなのかと西島に詰め寄る。西島は大きく首を横に振る。しかし、生活の状況は変わらない。翌日には役所の担当が迎えに来る。

西島は二人に頼まれて、手作りのさつま揚げをごちそうする。お母さんの言ったとおりに美味しいと喜ぶ姉弟。

西島は、お母さんが西島からの手紙を待っていたことを陸から聞くと、自分の心の狭さに気づき後悔のあまり嗚咽する。

二人を乗せた役所の車が出発する。見送りにもこない西島。車は海沿いの道にでる。もう会えないのかと諦めかける姉弟。その時、二人の車を追いかける西島の姿が遠くに見える。

その手には母親のと同じビー玉がある…。

対象 小学生・青年・成人
お申し込み・お問い合わせ

(映) 有限会社 博映商事

〒810-0073 福岡市中央区舞鶴1丁目3番31

TEL. (092) 741-0306

FAX. (092) 741-6628